

成人用肺炎球菌予防接種について

〈成人用肺炎球菌予防接種について〉

肺炎球菌感染症とは、肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。この菌は、主に気道の分泌物に含まれ、唾液などを通じて飛沫感染します。日本人の約3～5%の高齢者では鼻や喉の奥に菌が常在しているとされます。これらの菌が何らかのきっかけで進展することで、気管支炎、肺炎、敗血症などの重い合併症を起こすことがあります。

肺炎は、日本人の上位を占め、特に肺炎で亡くなる方の95%以上が65歳以上の高齢者です。日常でかかる肺炎のうち、原因となる菌で一番多いのが肺炎球菌で、この予防接種により重症化防止などの効果が期待できます。ただし、全ての肺炎を予防できるわけではありません。

〈ワクチンの副反応〉

発熱や注射部位の発赤などが起こることがありますが、多くは自然に治まります。きわめてまれにアナフィラキシー様反応、血小板減少、ギランバレー症候群、蜂巣炎様反応等の重大な副反応がみられることがあります。

〈接種を受けることができない方（接種不適当者）〉

1. 明らかに発熱している方（37.5度以上） 2. 重篤な急性疾患にかかっている方 3. 予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある方 4. その他、予防接種を行うことが不適当な状態にある方 5. 過去に成人用肺炎球菌ワクチンを接種したことがある方（助成対象外になります）

〈次の方は、接種を受けるにあたり医師とご相談ください。（接種要注意者）〉

1. 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患及び発育障害等の基礎疾患を有する方 2. 過去に予防接種で、接種後2日以内に発熱、全身性発疹等のアレルギーを疑う症状のみられた方 3. 過去にけいれんの既往のある方 4. 過去に免疫不全の診断がなされている方及び近親者に先天性免疫不全の方がいる方 5. このワクチンの成分に対してアレルギーを起こすおそれのある方

〈予防接種時の注意〉

1. 接種後30分間は、ショックやアナフィラキシーがおこることがありますので、医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。 2. 接種後1週間は副反応の出現に注意しましょう。接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は医師にご相談ください。 3. 接種当日の入浴は問題ありませんが、接種部位を清潔に保ち、接種当日は、過度な運動を控えましょう。 4. このワクチンは他のワクチンとの同時接種が可能ですので、同時接種を希望する場合は、医師にご相談ください。

〈予防接種健康被害救済制度について〉

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障が出るような障がいを残すなどの健康被害が生じた場合、厚生労働大臣がその予防接種によるものと認定したときは予防接種法に基づく健康被害の給付（医療費・障害年金等）を受けることができます。